

今後の費用対効果評価に関する制度のあり方について（案）

1. 費用対効果評価専門部会におけるこれまでの議論

- 費用対効果評価については、平成 25 年 11 月 6 日に本部会において「中間的な整理」について議論した際に、具体的な医薬品・医療機器に関するデータ等を用いて検討することが必要とされたことを受け、平成 26 年度の取り組みとして、具体例の検討を実施し、制度設計に向けた課題の抽出を進めているところ。

2. 今後の議論について

- 「中間的な整理」や、「具体例の検討」により抽出できた課題等を踏まえ、今後、以下の主な論点ごとにさらに議論を深めることとしてはどうか。

論点（1）データ提出のあり方等について

- ・ 評価対象の選定基準の考え方
- ・ データ提出のあり方 等

論点（2）分析の方法について

- ・ 分析ガイドライン
- ・ 効果指標の考え方 等

論点（3）評価の一連の流れのあり方について

- ・ 再分析のあり方
- ・ アプレイザルのあり方 等

論点（4）評価結果の活用方法について

- 費用対効果評価に関する制度のあり方については、上記の論点整理を踏まえ、以下のスケジュールで議論を進めてはどうか。

5月27日（本日）	具体例の検討に係る議論を通じた課題等を報告
6月～	個別の論点に沿って、さらに議論
夏（目途）	中間報告
夏以降	残る課題について引き続き議論